

青森市障がい福祉計画第 4 期計画の策定に係る 障がい者アンケート結果の概要について

1 調査目的

「青森市障がい福祉計画第 4 期計画（平成 27 年度～平成 29 年度）」の策定にあたり、障がい福祉サービス等の見込量を算出する際の参考とするため、市内に住む障がい者に対しアンケート調査を行いました。

2 調査内容

- (1) 基本情報（問 1～17）
回答者、年齢、性別、ご家族、障がいの状況等について
- (2) 障がい福祉サービス等の利用状況（問 18）
現在の利用状況、今後の利用希望について
- (3) ご意見（自由記載）
障がい福祉サービスや行政の取組について

3 調査方法

- (1) 調査対象者
 - ① 市内に在住する身体障がい者手帳、愛護（療育）手帳又は精神障がい者保健福祉手帳を所持する方 600 人（身体障がい 400 人、知的障がい 100 人、精神障がい 100 人）
 - ② 障がい者手帳を所持していない発達障がい児 50 人
- (2) 抽出方法
障がい者手帳の交付状況や障がい福祉サービスの利用状況等を登録している台帳の中から、等間隔無作為抽出
- (3) 配票及び回答方法
返信用封筒同封による郵送（無記名、自記式）
- (4) 調査期間
平成 26 年 6 月 1 日～6 月 25 日

4 回収結果

回収数 329 件（回収率 50.6%）

	調査対象者数	回収数	回収率
身体障がい者手帳所持者	400	198	50.6%
愛護（療育）手帳所持者	100	51	
精神障がい者保健福祉手帳所持者	100	25	
障がい者手帳を持っていない発達障がい児	50	14	
不明	-	11	
障がい者手帳重複所持者※	-	30	
全体	650	329	

※障がい者手帳重複所持者の内訳

身体・愛護	3 名
愛護・精神	3 名
精神・身体	21 名
身体・愛護・精神	3 名
計	30 名

5 調査結果の概要

※端数処理により割合の合計が合わない箇所があります。

問1 回答者（アンケートを記入した方）

区分	ご本人	ご家族	ご家族以外の の介助者	無回答	計
回答者数 (人)	169	124	12	24	329
割合 (%)	51.4	37.7	3.6	7.3	100.0

回答者については、「ご本人」と回答した人の割合が51.4%、「ご家族」が37.7%、「ご家族以外の介助者」が3.6%となっています。

問2 年齢（年代別）

区分	10歳 未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無 回 答	計
回答者数 (人)	19	18	13	30	24	27	53	74	55	10	6	329
割合 (%)	5.8	5.5	4.0	9.1	7.3	8.2	16.1	22.5	16.7	3.0	1.8	100.0

年齢については、「70代」と回答した人の割合が22.5%と最も高く、次いで「80代」が16.7%、「60代」が16.1%となっており、60代以上で58.3%を占めています。

問3 性別

区分	男性	女性	無回答	計
回答者数 (人)	164	160	5	329
割合 (%)	49.9	48.6	1.5	100.0

性別については、「男性」と回答した人の割合が49.9%、「女性」が48.6%となっています。

問4 一緒に暮らしている方（複数回答）

区分	父母	配偶者	子ども	祖父母	兄弟 姉妹	その他	いない	無回答	計
回答者数 (人)	89	117	98	11	44	18	69	5	451
割合 (%)	27.1	35.6	29.8	3.3	13.4	5.5	21.0	1.5	-

一緒に暮らしている方については、「配偶者」と回答した人の割合が35.6%と最も高く、次いで「子ども」が29.8%となっています。また、「いない」が21.0%となっています。

「その他」については、甥、姪、孫、養父、義理の母等となっています。

問5 日常生活の状態

No.	種類	区分	ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	計
1	食事	回答者数(人)	253	48	17	11	329
		割合(%)	76.9	14.6	5.2	3.3	100.0
2	トイレ	回答者数(人)	261	30	26	12	329
		割合(%)	79.3	9.1	7.9	3.6	100.0
3	入浴	回答者数(人)	209	66	40	14	329
		割合(%)	63.5	20.1	12.2	4.3	100.0
4	衣服の着脱	回答者数(人)	238	58	24	9	329
		割合(%)	72.3	17.6	7.3	2.7	100.0
5	身だしなみ	回答者数(人)	222	67	30	10	329
		割合(%)	67.5	20.4	9.1	3.0	100.0
6	家の中の移動	回答者数(人)	273	22	23	11	329
		割合(%)	83.0	6.7	7.0	3.3	100.0
7	外出	回答者数(人)	166	93	58	12	329
		割合(%)	50.5	28.3	17.6	3.6	100.0
8	ご家族以外の人 との意思疎通	回答者数(人)	211	75	27	16	329
		割合(%)	64.1	22.8	8.2	4.9	100.0
9	お金の管理	回答者数(人)	182	63	71	13	329
		割合(%)	55.3	19.1	21.6	4.0	100.0
10	薬の管理	回答者数(人)	206	46	66	11	329
		割合(%)	62.6	14.0	20.1	3.3	100.0
計		回答者数(人)	2,221	568	382	119	3,290
		割合(%)	67.5	17.3	11.6	3.6	100.0

日常生活の状態については、全体で「ひとりでできる」が67.5%、「一部介助が必要」が17.3%、「全部介助が必要」が11.6%となっています。

種類別では、「一部介助が必要」「全部介助が必要」を合わせ、「外出」が45.9%と最も高く、次いで「お金の管理」が40.7%、「薬の管理」が34.1%、「入浴」が32.3%、「ご家族以外の人との意思疎通」が31.0%となっています。

問6 介助者（複数回答）

※問5で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方が回答

区分	父母	配偶者	子ども	祖父母	兄弟姉妹	ヘルパー施設職員	その他	無回答	計
回答者数(人)	71	45	41	9	16	59	7	7	255
割合(%)	37.6	23.8	21.7	4.8	8.5	31.2	3.7	3.7	-

介助者については、「父母」と回答した人の割合が37.6%と最も高く、次いで「ヘルパー施設職員」が31.2%となっています。

問7 中心的な介助者の状況

※問6で「父母」「配偶者」「子ども」「祖父母」「兄弟姉妹」が介助している方が回答

①介助者の年齢（年代別）

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	計
回答者数(人)	1	1	14	26	24	49	22	8	2	147
割合(%)	0.7	0.7	9.5	17.7	16.3	33.3	15.0	5.4	1.4	100.0

②介助者の性別

区分	男性	女性	無回答	計
回答者数(人)	33	111	3	147
割合(%)	22.4	75.5	2.0	100.0

③介助者の健康状態

区分	よい	ふつう	よくない	無回答	計
回答者数(人)	41	74	29	3	147
割合(%)	27.9	50.3	19.7	2.0	100.0

介助者の年齢については、「60代」と回答した人の割合が33.3%と最も高く、次いで「40代」が17.7%となっています。60代以上が53.7%を占めています。

介助者の性別については、「女性」と回答した人の割合が75.5%となっており、女性が中心的に介護を行っているとうかがえます。

介助者の健康状態については、「よい」「ふつう」と回答した人の割合が、合わせて78.2%となっている一方、「よくない」が19.7%となっています。

問 8 身体障がい者手帳の所持

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答	計
回答者数 (人)	66	46	40	52	11	7	3	225
割合 (%)	29.3	20.4	17.8	23.1	4.9	3.1	1.3	100.0

※回答者数の内訳：身体障がい者手帳のみ所持 198名、他の障がい者手帳重複所持 27名
また、「無回答」は、問8で回答が無かったが、問9で回答があった人数

身体障がい者手帳の所持については、「1級」と回答した人の割合が 29.3%と最も高く、次いで「4級」が 23.1%、「2級」が 20.4%、「3級」が 17.8%となっています。

問 9 主たる障がい

区分	視覚	聴覚	音声・ 言語・ そしゃく 機能	肢体			内部	無回答	計
				上肢	下肢	体幹			
回答者数 (人)	12	9	6	13	69	21	57	38	225
割合 (%)	5.3	4.0	2.7	5.8	30.7	9.3	25.3	16.9	100.0

主たる障がいについては、「下肢」と回答した人の割合が 30.7%と最も高く、次いで「内部」が 25.3%となっています。

問 10 愛護（療育）手帳の所持

区分	A	B	計
回答者数 (人)	21	39	60
割合 (%)	35.0	65.0	100.0

※回答者数の内訳：愛護（療育）手帳のみ所持 51名、他の障がい者手帳重複所持 9名

愛護（療育）手帳の所持については、「B」と回答した人の割合が 65.0%、「A」が 35.0%となっています。

問 11 精神障がい者保健福祉手帳の所持

区分	1級	2級	3級	計
回答者数 (人)	12	33	7	52
割合 (%)	23.1	63.5	13.5	100.0

※回答者数の内訳：精神障がい者保健福祉手帳のみ所持 25名、他の障がい者手帳重複所持 27名

精神障がい者保健福祉手帳の所持については、「2級」と回答した人の割合が 63.5%と最も高く、次いで「1級」が 23.1%、「3級」が 13.5%となっています。

問 1 2 難病と診断されているか

区分	はい	いいえ	無回答	計
回答者数 (人)	21	279	29	329
割合 (%)	6.4	84.8	8.8	100.0

難病と診断されているかどうかについては、「はい」と回答した人の割合が 6.4%となっています。

問 1 3 発達障がいと診断されているか

区分	はい	いいえ	無回答	計
回答者数 (人)	46	252	31	329
割合 (%)	14.0	76.6	9.4	100.0

発達障がいと診断されているかどうかについては、「はい」と回答した人の割合が 14.0%となっています。

問 1 4 高次脳機能障がいと診断されているか

区分	はい	いいえ	無回答	計
回答者数 (人)	19	276	34	329
割合 (%)	5.8	83.9	10.3	100.0

高次脳機能障がいと診断されているかどうかについては、「はい」と回答した人の割合が 5.8%となっています。

問15 現在受けている医療ケア（複数回答）

区分	気管切開	人工呼吸器	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養
回答者数(人)	0	3	5	4	9	1	0
割合(%)	0.0	0.9	1.5	1.2	2.7	0.3	0.0

区分	透析	カテーテル留置	ストマ	服薬管理	その他	無回答	計
回答者数(人)	7	6	5	83	69	167	359
割合(%)	2.1	1.8	1.5	25.2	21.0	50.8	-

現在受けている医療ケアについては、「服薬管理」と回答した人の割合が25.2%と最も高く、次いで「胃ろう・腸ろう」が2.7%となっています。

問16 暮らしの状況

区分	一人で	家族と	グループホームで	福祉施設で	入院	その他	無回答	計
回答者数(人)	39	240	10	19	11	6	4	329
割合(%)	11.9	72.9	3.0	5.8	3.3	1.8	1.2	100.0

暮らしの状況（現在どのように暮らしているか）については、「家族と」と回答した人の割合が72.9%と最も高く、次いで「一人で」が11.9%となっています。また、「福祉施設で」が5.8%、「入院」が3.3%となっており、施設や病院で暮らしている人を合わせて9.1%となっています。

問17 障がい支援区分

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	無回答	計
回答者数(人)	8	12	7	8	2	4	221	67	329
割合(%)	2.4	3.6	2.1	2.4	0.6	1.2	67.2	20.4	100.0

障がい支援区分については、「区分2」と回答した人の割合が3.6%と最も高く、次いで「区分1」「区分4」の2.4%となっており、いずれかの支援区分認定を受けている人は全体の12.3%となっています。

問 1 8 サービスの利用状況

No.	サービスの種類	区分	現在利用 している	今後利用 したい	傾向	比較
1	居宅介護	回答者数(人)	20	66		46
		割合(%)	6.1	20.1		14.0
2	重度訪問介護	回答者数(人)	6	56		50
		割合(%)	1.8	17.0		15.2
3	同行援護	回答者数(人)	5	41		36
		割合(%)	1.5	12.5		11.0
4	行動援護	回答者数(人)	7	57		50
		割合(%)	2.1	17.3		15.2
5	重度障がい者包 括支援	回答者数(人)	3	47		44
		割合(%)	0.9	14.3		13.4
6	生活介護	回答者数(人)	29	68		39
		割合(%)	8.8	20.7		11.9
7	自立訓練(機能 訓練)	回答者数(人)	27	81		54
		割合(%)	8.2	24.6		16.4
8	自立訓練(生活 訓練)	回答者数(人)	26	76		50
		割合(%)	7.9	23.1		15.2
9	就労移行支援	回答者数(人)	7	60		53
		割合(%)	2.1	18.2		16.1
10	就労継続支援A 型	回答者数(人)	7	50		43
		割合(%)	2.1	15.2		13.1
11	就労継続支援B 型	回答者数(人)	23	56		33
		割合(%)	7.0	17.0		10.0
12	療養介護	回答者数(人)	9	57		48
		割合(%)	2.7	17.3		14.6
13	短期入所	回答者数(人)	13	84		71
		割合(%)	4.0	25.5		21.5
14	共同生活援助	回答者数(人)	12	69		57
		割合(%)	3.6	21.0		17.4
15	施設入所支援	回答者数(人)	13	59		46
		割合(%)	4.0	17.9		13.9

No.	サービスの種類	区分	現在利用 している	今後利用 したい	傾向	比較
16	地域移行支援	回答者数(人)	4	33		29
		割合(%)	1.2	10.0		8.8
17	地域定着支援	回答者数(人)	6	57		51
		割合(%)	1.8	17.3		15.5
18	児童発達支援	回答者数(人)	17	30		13
		割合(%)	5.2	9.1		3.9
19	放課後等デイサービス	回答者数(人)	9	31		22
		割合(%)	2.7	9.4		6.7
20	保育所等訪問支援	回答者数(人)	3	22		19
		割合(%)	0.9	6.7		5.8
21	医療型児童発達支援	回答者数(人)	2	19		17
		割合(%)	0.6	5.8		5.2
22	障がい者外出介護サービス	回答者数(人)	9	61		52
		割合(%)	2.7	18.5		15.8
23	障がい者移送サービス	回答者数(人)	12	45		33
		割合(%)	3.6	13.7		10.1
24	手話通訳者派遣	回答者数(人)	1	11		10
		割合(%)	0.3	3.3		3.0
25	要約筆記者派遣	回答者数(人)	1	14		13
		割合(%)	0.3	4.3		4.0
26	日常生活用具給付等	回答者数(人)	19	69		50
		割合(%)	5.8	21.0		15.2
27	地域活動支援センター	回答者数(人)	7	43		36
		割合(%)	2.1	13.1		11.0
28	日中一時支援	回答者数(人)	16	66		50
		割合(%)	4.9	20.1		15.2
29	訪問入浴サービス	回答者数(人)	5	47		42
		割合(%)	1.5	14.3		12.8
30	成年後見制度	回答者数(人)	1	66		65
		割合(%)	0.3	20.1		19.8

サービスの利用状況で、現在利用しているサービスについては、「生活介護」と回答した人の割合が8.8%と最も高く、次いで「自立訓練（機能訓練）」が8.2%、「自立訓練（生活訓練）」が7.9%、「就労継続支援B型」が7.0%、「居宅介護」が6.1%となっています。

また、今後利用したいサービスについては、「短期入所」と回答した人の割合が25.5%と最も高く、次いで「自立訓練（機能訓練）」が24.6%、「自立訓練（生活訓練）」が23.1%、「共同生活援助」「日常生活用具給付等」が21.0%、「生活介護」が20.7%、「居宅介護」「日中一時支援」「成年後見制度」が20.1%となっています。

6 ご意見

57件

(1) 障害福祉サービス等について

No.	障がい種別	ご意見
1	身体	退院後、病院で行っていたようなリハビリやマッサージを受けられる場所が少ない。デイサービスなどは、リハビリ特化型が増えてきていて、マッサージを受けられるそうですが、介護保険が使えないので利用できない。リハビリや、マッサージを受けられるサービスがあると助かります。
2	身体	親と同居しておりますが老いてきていますので、娘（50才）のことが一番心配です。親が亡くなった後、施設で暮らせるように願っておりますが、現在どのようになっているものかと心配です。現在持ち家ですが、親が亡き後、どうなるものかも心配です。今からそのような相談するところがありますか。
3	知的	出生してからは障がいの有無に関わらず一貫して担当してくれるシステムがほしい。障がいと分かたらなおさら児相、病院、学校、市役所等、情報を共有して関わってほしいと思います。
4	身体	息子が障害児で中学生です。子供が成人に近づくにつれ、職業について、自分の力で生きて行けるのか心配です。いろいろなサービスを学び、親がいなくなっても、幸せに暮らしてほしいと強く願っています。ずっと変わらず、相談できる、担当の相談員とか、定期的にお会いできるようなシステムがあるとうれしいなあと思います。
5	身体	補装具について、歩く本数によって、くつの減りが違うから、6ヶ月以上たたくなくちゃ修理できないと。私は人より多く歩くため、早く靴の下が減る。
6	身体	視覚障害者が日常生活を出来るだけスムーズに暮らすには、日常生活用具の数も多く必要です。補助の制約制限を広げていただきたいと思います。
7	身体	日常生活用具について、現在、給付を受け使用しているが、経年劣化などの場合に更新する際の再給付条件が明確に示されていない。明確に福祉ガイドブック等に記載してほしい。
8	精神	近年、障がい者をめぐる制度やサービスがいろいろ変わっている。本人も家族も学習しないとうまく活用できないと思っています。その機会を設けていただくと、ありがたいです。
9	身体 精神	どのバスも福祉乗車証が使えると助かる。市で何とかしてほしい。他の市や県では電車に乗れたりもするらしいので、もっと範囲を広げてほしい。
10	身体	脳梗塞により左半身に麻痺があります。福祉乗車証をもらっていますが、降雪時に家から近いバス停まで歩いて転倒し、骨折するかもしれない考えると、とても恐く不可能。結局タクシーを利用し、その経済的負担は生活に重大な支障を及ぼしています。せめて通院に必要な無料タクシー券など支援できないものでしょうか。

(2) 障がい児支援について

No.	障がい種別	ご意見
1	知的	青森県外から引っ越して来ました。以前住んでいた所は、児童発達支援、放課後等デイサービスに非常に積極的で、子どもが安心して通える場所が数多くありました。通所受給者証のみ所持している者にとっては、通える場所も少なく、児童発達支援、放課後等デイサービスで行っている内容も、私が以前住んでいた所のもとは全く違って驚きました。身体障害者手帳や療育手帳等を持っている人にとっては良いサービスを受けられるような気がしてなりません。
2	発達障がい	子どもが広汎性発達障害があり、現在、幼稚園に通いながら週1回の個別指導(40分枠)を受けています。発達障害の子の人数が多くて、個別指導の回数を突然減らされたり(私ではないですが)、予定がいっぱいのため、40分枠といながら移動時間、前の人の枠の時間延長等で30分しか受けられません。怒りを覚えながら通っていますが、他にそういう設備人材等揃っている所がないため選びようがないと同じ障害を持つ方々と話をしています。青森は需要に対して供給が不十分だと思いました。
3	不明	現在、子どもが保育園に通っていますが、同じ子と比較すると身体的には1歳ほど下ぐらいで、言語的にも他の子と同等に会話するのが難しいため、とても活発な子ども達と一緒に遊ばせることが、本人よりも親の私のほうが少々苦痛に感じることがあります。もっと体を使って遊ばせたいのですが、そのように安心して遊ばせてあげられる様な場所が少ないと思います。児童発達支援を受けてる方々への施設のお知らせなど、たまにくださるとありがたいです。

(3) 教育について

No.	障がい種別	ご意見
1	身体	肢体不自由(下肢)障がい1級の息子(3歳)を普通の小学校へ通わせてあげたいと、先日、小学校を見学し事情を説明したところ、学校側では受入はまず大きな問題はないが、教室間の移動や階段を利用する場合、家族の方や支援して下さる方の手が必要になると言われました。 できるのであれば、そのように児童を受け入れている学校には、移動の支援や介助して下さる人を数名配置して欲しいと思います。障がい児、健常児が互いに壁の無い教育が受けられる環境になれますようお願い致します。
2	身体	現在、小学校へ通っていますが、洋式トイレが増えるとうれしく思いますし助かります。又、手すりやスロープ等全ての学校にあたり前のように欲しいです。 支援員の方が増えとてもありがたいです。毎年少しずつでも増員されることを願っています。

(4) 雇用について

No.	障がい種別	ご意見
1	身体的	一般就労できるように、障がい者への理解を一般企業へ広めてほしい。

(5) 高齢者福祉について

No.	障がい種別	ご意見
1	身体	老人、介護施設に入りたくても、お金がなくては入れない。自宅介護は本人も介護する方も大変です。必要などきに入られる施設にしてほしい。
2	身体	高齢者が急増している反面、若者や子供が減少傾向であり、その上共働き世帯も多くその中で在宅介護は非常に厳しい状況にあると思います。現在施設自体が追いつかない状況にあるのもっと増やして欲しい。
3	身体	老人、介護施設等で働く方の労働条件、賃金の補償など、もっともっと改善していく必要があると思う。

(6) アンケートについて

No.	障がい種別	ご意見
1	身体的	このアンケートをわかりやすいようにしてほしい。サービス名がむずかしい。
2	身体	問17の区分1～6の意味がわからなかったです。
3	身体	むずかしくて理解に苦しみました。
4	発達障がい	たくさんのサービスがあることをアンケートを通して知りました。
5	身体	障害別にニーズや程度が非常に違いが大きいのので、障害別調査を行わなければ、現状は掴めないと思います。

(7) その他

No.	障がい種別	ご意見
1	知的精神	てんかん病を患っていますが、障がい者求人情報を見て会社に面接を受けに言っても、会社はてんかん病があることで、採用されません。また、道路交通法が変わり、てんかん病は自動車の運転もできなくなり、私は自分の車を売却した。納得できない。てんかん病は植物人間と同様で、障がい等級を重度障がいの一級に切り替えを求めます。
2	身体精神	現役中（看護婦）、事故で突然障がい者になり16年目になります。認定になって14年目、役所などすごく親切にいただき、健常者であった時を思い出し、弱者の立場で感謝しております。いろいろなかたにお世話になり、今まで暮らしてきました。ありがとうございます。
3	身体	通院の際は、主人も1種2級なので、1割引タクシーで往復できることに感謝です。 バス停が近いので、福祉バス乗車証を利用して買い物に行っています。重い荷物は配達してもらっています。もしできましたら、配達料金無料になったらと思います。
4	知的	時々、このようなアンケートの機会があればよいですね。
5	身体	温泉宿等の館内施設内容が肢体不自由者でも対応できるのかどうかの情報が欲しい。特に、青森県は全国的にもトップクラスの温泉数を誇り、その泉質も豊富で、療養温泉に適するものが多いことから、病後等の健康回復にもこれを十分に生かすことが重要と考える。
6	身体	養老園に入園してから約11ヶ月ぐらいになりましたが、今の所不自由なこともない。若しも困った事があれば、相談員の方もいるし、またオンブスマンの方も月に2回以上は来ております。それでも困った事あれば、市の福祉部さんへお伺いします。
7	知的	愛護手帳や特別児童扶養手当、その他の手当にしても申請することから始まるが、それが必要かどうかの判断が出来ない。申請に関わらず、必要なら市側で手続きしてほしい。
8	知的	障害者の移送サービスについて、施設への送迎車がありながら利用させず、保護者も健在、車がありながら、施設・入浴・プール等に悪用している者が散見される。
9	不明	介護保険が使えない（65歳未満）ので、リハビリ等受けられず、残念です。
10	身体	夫婦あるいは1人暮らしの老人世帯への情報の伝達等が問題。自宅の玄関前に座っているだけでも交流のきっかけになるのだが。原点に帰って「あいさつ」運動からはじめなきゃならん。
11	身体	身体障害者手帳（4級）を持っているほか、病気の治療を行っている。妻は認知症で施設に入所し、月2回面会に行っている。。疲労が重なっている状態です。

No.	障がい種別	ご意見
12	身体	いろんな企画に老若男女・障害者を交えて話し合いの場や実際に障害者の家を訪ねて状況をお調べになったことは、おありなのでしょうか。机上の満足で終わらないことをお願いします。
13	身体的	市役所の職員が、施設にきて私たち利用者の生活をみてほしい。
14	知的	今現在、私達（親）が元気なうちは面倒を見ていきたいのですが、動けなくなったら、行政側の力を借りたいと思っています。よろしくお願いします。
15	身体	週2回、社会福祉協議会にお世話になっています。週3回にしていきたい。
16	身体	ある老人ホームに入居していましたが、障害者手帳を使う使わないでホームの人とケアマネさんがもめ介護してもらえないみたいになり退去しました。介護4でもいいと言うことで入居したのですが、本人がいちばんかわいそう。お金かかりましたが、ちがうホームに移りほっとしています。（家族）
17	知的	手帳を申請するのにとても時間が掛かりすぎている。ムダをはぶいて時短やスムーズにおこなってもらいたい。
18	身体	サービスの種類や具体的内容について、これほど色々あるのは知りませんでした。各々にあったサービスが、もっと分かりやすくなると思います。
19	発達障がい	同じような手続きが重複して必要だったりするので、まとめてほしい。
20	身体	全体的に行き届いたサービス体制だと感謝しております。今後ともよりよい体制が続けられますよう望みます。
21	身体	現在のデイサービスのお世話になっておりますが今後もこのままお世話になればありがたいです。健康である限り（うごける）一人でできることはなるべく一人でやって行きたいです。
22	知的	父親が怖くて、辛い毎日を送っています。今の現状を変えていくためには、どうしたらよいでしょう。手帳を持つことが果たして良いのか悪いのか？デメリットが多すぎる感じがします。もっとメリットを多くして、安心できる社会を目指して行ってほしいと思います。
23	身体	母を含め一人暮らしの高齢者は公的機関からの郵便物を読むことすらできず、誰か訪ねて来るのを待っている状態。高齢者に配慮した取扱いと思いません。後見人制度に準じる取扱いに変更すべきと思われる。康保険証の郵送しかり。毎年の更新を5年に一度のように出来ないものか。経費削減にも寄与するのでは。

No.	障がい種別	ご意見
24	身体	私は両変形性膝関節症による両膝関節機能全廃ですが歩行には困りませんが、正座は出来ませんが。身体障害者手帳のため、福祉乗車証とタクシー利用時も割引され大変助かっています。ありがとうございました。
25	身体	他人の病気などを言いふらす民生委員がいますが、守秘義務を強く守ってほしい。また、行政と地域が連携して強く指導してほしい。
26	発達障がい	自立支援医療受給者証（精神通院）を使っているのですが、指定病院が1カ所では不便なので、2カ所使えるようにしてほしい。また、毎日飲まないといけない薬だから、とてもお金がかかる。毎日薬を飲み続ける子供には、18歳まで医療費助成を使えるようになれば助かります。
27	知的	介助者が高齢になりいろいろな福祉サービスを利用する機会があると思います。本人は一人で外出できるが、周りの理解があまり得られない。
28	身体	市営バスについて、下肢不自由な者にとって乗り降りするのに高いとうんざりする。低床バスをもっと増やしてほしい。横向きのイスも多くなってきているようですが、あれもどうかと思う。立っている人に足を踏まれたりする。
29	身体	障がい者支援課の順番待ちについて、他の課のように順番札を設けたほうが良いと思います。また、混み合ってから職員の方が番号札を渡していましたが最初から札を受け取ったほうが待つ者としては安心です。
30	身体	障がい福祉また行政の方もまだまだよくなります様に願い致します。
31	身体	歩行時、車道と歩道の高低差が気になりませんが「えん石」が横断の時、邪魔に感じます。
32	身体	下肢に障害を持つお年寄りの御家族が、災害時の避難について心配しています。何らかの形で情報提供をお願いいたします。
33	身体	過日アウガ1階で車椅子の貸出しを受けました。返却は借りた場所でとのことでしたが、1階はタクシー乗車がしにくいいため難儀をいたします。市役所をはじめ市の施設は、車いすは降りた場所に置くようにと指示をいただきます。できましたら、このようなご検討をお願いいたします。